

1 単元名 8月のカレンダーを作ろう

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
「手先の巧緻性」 ・描画、折り紙、切る、貼るなどの動作が円滑にできる。 「書字・数字」 ・数字を正しく書くことができる。また、数字の順序を理解できている。	・季節にあったテーマを考えることができる。 ・制作に必要な材料や道具を想定することができる。 ・友達の意見を参考に、自分がやりたいことを決めることができる。	・進んで考えたり、友達の意見を肯定的に捉え、参考にしたりすることができる。 ・作業に集中して取り組むことができる。 ・家族に進んで感想を聞き、友達に伝えようとする事ができる。

3 教材のとらえ

カレンダーはここ数年、毎月一人1枚ずつ作ってきているもので、児童にとってなじみが深い題材である。8つ切りの画用紙の下がカレンダー、上は季節にちなんだ絵としている。

数字の順序や書字の練習の他、色を塗ったり折り紙を折ったりといった動作、また切る、貼る等の作業が、手先の巧緻性を高める学習にも繋がっている。作ったカレンダーについては、通常は交流級や職員室など、担当する場所を分担し届けに行っている。その際に、挨拶や前月のカレンダーの回収のお願いなど、先生方と言葉のやりとりをすることも学習の一環になっている。

本単元では、8月のカレンダーを作成する。夏期休業中であり、家庭で使用することを想定している。日付部分についてはこれまでどおりに作成するが、今回は絵のテーマは児童自身で決めることにした。8月にふさわしいテーマを出し合うことで、互いの意見をよく聞き、肯定的に捉えて受け入れる態度を養いたい。また、考えが思いつかない児童も、他者の意見を参考に、自分が作りたいことを見つけことができ、意欲的に取り組むことができると考える。

今回はテーマが事前に決まっていないため、まずはテーマを話し合い、その後数字部分の作成を始める。児童の意見を受け、担任が材料や絵（塗り絵）等を用意し、次回以降絵の部分の制作を行う。完成したものは持ち帰り、家族に見せて感想を聞いてくると、それを交流することまでを本単元とする。

なお、7月のテーマの候補を児童が出し合ったところ、夏をイメージさせるものが多く出された。今回は、それと同じものが児童から出されても、8月のテーマの候補として取り上げることにする。

4 単元計画

時	学習活動	指導の手立て	評価規準
1~6	○4～6月のカレンダーを作ろう ・テーマに従って絵を制作する。 ・手本をもとにカレンダーを書く。 ・完成品を所定の場所に届ける。	・事前にテーマを決めておき、それに沿った材料を用意する。	・巧緻性や作業の自立度 ・活動に臨む態度 ・作品の完成度 ・挨拶等コミュニケーションの様子
7・8	○7月のカレンダーを作ろう ・カレンダーのテーマを決める。 ・手本をもとにカレンダーを書く。 ・テーマに従って絵を制作する。 ・完成品を所定の場所に届ける。	・7月に合うテーマを児童が出し合い、それに沿った材料を用意する。	・巧緻性や作業の自立度 ・活動に臨む態度 ・作品の完成度 ・考え、発表する力 ・挨拶等コミュニケーションの様子
9(本時) 10	○8月のカレンダーを作ろう ・カレンダーのテーマを話し合う。 ・手本をもとにカレンダーを書く。 ・テーマに従って絵を制作する。 ・完成品を持ち帰り、感想を聞く。	・8月のテーマを児童が話し合って決める。 ・決まったことに従い、材料を用意する。	・巧緻性や作業の自立度 ・活動に臨む態度 ・作品の完成度 ・考え、発表する力、話し合いに臨む姿勢 ・挨拶等コミュニケーションの様子
11~ 24	○今月のカレンダーを作ろう ・カレンダーのテーマを決める。 ・手本をもとにカレンダーを書く。 ・テーマに従って絵を制作する。 ・完成品を所定の場所に届ける。	・各月に合うテーマを児童が出し合い、それに沿った材料を用意する。	・巧緻性や作業の自立度 ・活動に臨む態度 ・作品の完成度 ・考え、発表する力 ・挨拶等コミュニケーションの様子

5 本時の指導案

- ①本時の目標
- ・季節や8月の行事をイメージし、カレンダーのテーマを提案することができる。
 - ・友達の意見を参考に、作りたいものを考えたり選んだりすることができる。
 - ・カレンダー（数字部分）を丁寧に制作することができる。

②本時の学習

学習活動	教師の支援
1. 本時の活動を確認し、これまでに作った各月のカレンダーを振り返る。	○テーマ決めを自分で行うこと、話し合いの後に数字部分を作ることを確認する。 ○前回、自分たちでアイデアを出したことを確認する。
8月のカレンダーの絵を決めよう。	

2. 8月のカレンダーの絵を考える。 ・夏だから海がいい。 ・夏休みの絵がいい。 ・食べ物の絵にしたい。 ・スイカがあるよ。 3. 意見を発表する。 ・海を描きたい。 ・食べものもいいな。 →スイカ、そうめん、かき氷、ジュース、 アイスクリームなど。 ・お祭りの絵がいいよ。 4. 本時の課題を確認し、友達の見見をもとに話合ってテーマを決める。 ・海はもう描いたよ。 ・でもやっぱり夏といえば海だよ。もう一度描きたいな。 ・食べ物の塗り絵がいいよ。 ・折り紙だと難しいな。 5. カレンダー作りを始める。 ・数字部分の作成を始める。	○児童がつぶやいたり、周りの子と相談したりする様子を見守り、褒めたり助言したりする。 ○一部の児童には、生活図鑑を資料として提示する。 → ・考える参考にする。 ・自分の意見を指さして表現する。 ・相手に見せて伝える。 ○これまでのカレンダーで描いたことがあるものでも、夏にふさわしいものは認める。 ○児童の意見を分野ごとにまとめて板書する。 ○筆談の児童の意見は代読する。 ○8月のカレンダーは、自分たちで描くものを決めることを確認する。 ○3、4年生を中心に意見を出し合うようにする。 ○描きたいものを絞ることができれば、それを8月のテーマとする。 ○絞りきることができなかった場合は、教師が話をまとめる。意見を出し合えたことを評価する。
--	--

